



社会福祉法人 北星会 〒626-0033 京都府宮津市字宮村1277番地  
TEL：0772-22-0320 ホームページ：http://www.hokuseikai.or.jp/  
FAX：0772-22-8477 Eメール：info@hokuseikai.or.jp

### 夢のある職場づくりを

社会福祉法人 北星会本部



北星会では、今出理事長の就任あいさつ「北星会で働く職員一人一人が自分の仕事に対して誇りと喜びを持ち、働きがい、生きがいを感じ取れる夢のある職場環境づくり」実現のため、就業規則や給与規程等の改定を行いました。

同時に、法人本部の職員を増員。各施設では管理職と職員の面接を実施し、意見を聞取ることと組織力の強化と職場環境改善に積極的に取り組んでいます。

職員が誇りと喜びを持って働く事が出来れば、ご利用者やご家族はもちろん、共に働く職員や地域の皆さんに対しても気持ち慮り、寄り添う余裕を持つ事ができ、結果、働きがいや生きがいを感じつつ、より楽しく働く事ができると考えます。

今年度、なぎさ倶楽部を宮津市から受託。また、各



本部職員を増員しました

施設で介護予防・日常生活支援総合事業の指定をうけ「体操やりハビリを行って、いつまでも元気に過ごしたい」という要望に応えるサービスの提供を始めています。

各施設が地域における福祉・介護の拠点として皆さんから信頼され、事業の継続や成長を求められる法人となれるよう、これからも努めてまいります。

(法人本部事務局長 前田重人)

### なぎさ倶楽部が

再始動!

老人保健施設  
リハ・ヴィフなぎさ苑

なぎさ倶楽部は、宮津市の委託を受けて要支援の方々を対象に取り組んでいます。

『いつまでも元気に自宅で暮らせる』事を目的として、なぎさ苑在籍の専門職一同が知識をフル活用し、倶楽部会員の方々と身体機能・認知機能の改善を目指します。

具体的な内容としては、看護師・理学療法士・作業療法士等が身体機能・認知機能評価を行い、低下した部分を中心に介入していきます。より効果を高めるため自宅での自主トレ方法も指導させて頂いています。膝や腰の痛み、バランス能力の改善を図り、転倒しにくい体作り、思考力や記憶力の改善を図ります。



「力を込めて、握力測定！結果は？」

また、全身状態を改善するためには栄養状態がとて重要となつてきます。歯科衛生士には口腔ケア、管理栄養士からは食事内容の相談・アドバイスを受けて頂きます。

1クール12回として、年間4クール実施しますが途中参加も可能です。定員に限りはありますが募集は継続しています。

宮津市在住の方々、ぜひなぎさ倶楽部に参加し、効果を実感して下さい。

(橋本彩乃)



「美味しいで！」

昨年秋に初めて『郷食堂』を開催し、ご利用者から「こんな大勢で食べると普段より美味しいわ。またやってえよ」との声を頂き、今回6月に2回目の開催となりました。長期・ショート全9ユニットのご利用者が一堂に会した会場は、ご利用者の声と熱気に溢れ賑やかな雰囲気になりました。会場の外では炭をおこして焼きそばを作りました。ソースの香りと鉄板で炒めた

## 大盛況！「郷食堂」

特別養護老人ホーム

天橋の郷

香ばしい匂いが、食欲をそそり普段よりも食が進んでカレーライスや焼きそばを沢山召し上がられ、お替わりされる方もありました。

食後は『花咲爺さん』を観劇。職員がそれぞれの役に扮して大熱演、不慣れた演技に苦労しながらも見慣れた職員のいつもと違う姿にご利用者からは笑い声が湧き上がりました。最後はご利用者と職員、100名以上で『花咲爺さん』の歌を合唱し大団円となりました。これからもご利用者、職員が一緒に楽しめる企画を

## 与謝の園

### デイサービスの春

「たくさんさんの花とふれあいました」

4月初め、毎年恒例となっている『水戸谷峠の桜見学』『雪舟観のつつじ見学』に行ってきました。この季節になると、ご利用者から「また連れて行ってなあ」



「出演者舞台挨拶」

開催し、天橋の郷が楽しみに溢れた施設になるよう取り組みでいきたいと思っています。（大浦俊輔）

「そろそろ桜の季節やなあ」と声をかけていただきますが、今年は桜の見頃が難しく、なかなか綺麗な時に出掛けする事が出来ませんでした。最近では、「庭に咲いていたから持ってきたでー」「良かったら飾って」とお花を持って来られる方もあり、みなさんに素敵に活かしていただいています。身近に花があると、気分も明るくなり、会話のきっかけ

## 新しい車でお迎えに参ります！



### ハウゼ天橋通所介護事業所

新しい送迎用の車がやって来ました！日本財団の福祉車両助成を受けて、車いす対応の軽自動車が納車されました。

4人乗りだけど、後部座席が折りたためるようになっていて、車いすの方の送迎時にも活躍するのは間違いなし。今まで以上の安心・安全・快適な送り迎えに心がけます。

これから、カラフルなかわいい車が、皆さんをお迎えに参りますよ～。（水谷 暁）



「カラフルなデザインが目印」



「難しいわ～」と会話がはずみました

（小畑恵美）



# 「通所リハビリって何をやるようになるの？」

なぎさ苑通所リハビリテーション事業所

なぎさ苑通所リハビリ（通称・デイケア）は、宮津与謝地域で唯一の通所リハビリテーション事業所です。

主なサービス内容として、①退院・退所後すぐに継続したりハビリが必要なる方へ短期間の集中的な個別リハビリ、②生活動作能力向上に向けた生活リハビリ（食事や入浴、トイレ動作などの日常生活上の支援）、③マシンを使ったパワーリハビリを行っています。

よくデイサービスと一緒に思うられることが多いのですが、なぎさ苑デイケアは、医師の指示のもとリハビリ専門職が、ご利用者一人ひとりに合わせた専門的なりハビリメニューをケアスタッフと共に提供していること、リハビリ専門職の他にも、医師や看護師、歯科衛生士、管理栄養士等

の各種専門職員が常駐している、この点がデイサービスとの大きな違いとなります。

なぎさ苑デイケアでは、「ご利用者が住み慣れた場所、いつまでも自分らしい暮らしが続けられる」を基本方針とし、個々のケアプランをもとに、デイケア



「もう体操以外、愛せない！」

の利用目的、在宅での具体的な生活課題、リハビリ目標等を明確にし、「してもらうリハビリから自らがするリハビリ」へ意識を変えて頂くことが重要であると考へ、説明しています。

また、今年4月より、「元

## 「おきらくかふえ」でわきあいあい

特別養護老人ホーム 与謝の園

与謝の園で取り組んでいる「おきらくかふえ」を紹介いたします。与謝の園は開園より30年が過ぎ、ベテラン職員から新人職員まで約80名の職員が働いています。老朽化の進む施設での労働環境や、今後考えられる建替への事など、職員間で自由な意見交換ができる機会を持つと、「おきらくかふえ」（気楽に誰もが参加できるように緩い感じのネーミング）を開催することとなりました。

「おきらくかふえ」はワールドカフェ方式を手本と

気なお口が元気な身体をつくる！」をモットーに歯科衛生士による口腔ケアを本格的に開始し、ご利用者やそのご家族からご好評いただいております。

（小川 雄）

しています。ワールドカフェとは？いくつかの少人数グループに分かれて意見交換をするやり方です。少人数で行うことにより、発言する機会が得やすく、対話を楽しむことを目的としているので、お互いの理解を深めながら様々な気づきや、自由な発想・アイデアを生み出すことが期待できます。まるで「カフェ」にいるような雰囲気の中でリラックスして気軽に自由に対話できるようにと考えられたやり方です。

「おきらくかふえ」では



「さあ！今日のお題はなんですか」

実際に自分のカップを持ち寄り、用意された飲み物や、おやつを食べながら自由な雰囲気の中で話し合いをしています。今までのテーマには「もし私が施設長だったら」「与謝の園に足りないもの」などなど、与謝の園の身近な課題・話題などをその都度考へて、和気あいあいと盛り上がっています。

（百鳥正洋）

毎月1回1時間程度、よりよい与謝の園に向けて部署間を超えての意見交換・交流を行っています。

## 癒しのフラワースト

### ハーバリウム

天橋の郷通所介護事業所

天橋の郷デイサービスでは今年流行しているハーバリウムの作成に取り組んでいます。

花のある生活って素敵ですよ！ご利用者に花の魅力を感じてもらいたいと思い、天橋の郷に咲く花をドライフラワーにして楽しめる「ハーバリウム&押し花」を企画、始動しました。ハーバリウムとは植物標本の事でガラス瓶にドライフラワーを入れ専用のオイルで封じ込めたフラワーストです。第一弾としてドライフラワーを作成し押し花にしました。今まで物作りに携わらなかった方々も花を使った物作りに興味を持たれ、思い思いのデザインに仕上がっています。第二弾はいよいよハーバリウムを作成します。今までなかった花の形を楽しんで頂き心

## 毎月一度のよろず相談所開催中

特別養護老人ホーム 与謝の園

与謝の園では毎月第一週の水曜日に、ご利用者の皆さんの心配事や悩み事を聴く、「よろず相談」を行っています。開催のきっかけは、3年に一度実施している福祉サービス第三者評価の自己評価の際に、「与謝の園では利用者満足の向上に努めているか？」との思



「癒しのハーバリウム」

癒されるデイサービスの空間を作っていきたいと思えます。今後もご利用者の希望を聞き、ご利用者主体の活動を展開していきたいと思っています。

(荒川良美)

## なぎさ苑での「口腔ケア」

老人保健施設 リハ・ヴィラなぎさ苑



高齢者の口には次のような特徴があります。

- ① 歯の喪失
- ② 口の筋力の低下
- ③ 唾液減少

自浄作用の低下により、食べかすや細菌が洗い流されずに口の中で増えていきます。又、加齢により抵抗力が落ち、虫歯や歯周炎、嚥下性肺炎の原因を作ってしまうます。

「食べる」「しゃべる」「表情を作る」「元気で過ごす」



「食後のケアを大切に！」

「口」は生きる上で様々な機能を担っています。「口」をケアし、健やかに保つ事で、身体を健やかに保つ事が出来るといわれています。「口

いから、昨年の12月より始めた取り組みです。今では月1回の「よろず相談」を待つておられるご利用者の方もあり、「よろず相談はいつでもですか？」と問われることも度々です。相談内容は、自分の事、家族の事、

ここでの生活の事など、皆さんそれぞれです。ゆっくり話を聴くことで、安心され、「また、いつでも聴きますよ」との声掛けに笑顔で返事をされるご利用者の方々。これからも引き続きご利用者の思いを大切に援助にあたりたいと思います。



「ひとりひとりゆっくりと」

「口腔ケア」を通して「自分の口から食べる」「笑顔で楽しい会話を楽しむ」など、毎日を少しでも豊かにするためのお手伝いが出来たら嬉しい。と願っています。健康なお口が、健康な身体を作る。「お口は身体を支えているとても大切な場所」です。

なぎさ苑では歯科衛生士が入所ご利用者、デイケアご利用者一人ひとりの口へのケアに関わりながら、さわやかに快適な日常を過ごされますようお手伝いしています。

(系井久美)